

平成30年10月21日

第9回 新木「地域会議」議事録

- 1 開催日時 平成30年10月21日（日） 10:00~
- 2 開催場所 新木近隣センター 多目的ホール
- 3 議 事 司会進行 新木地域会議事務局長
 - (1) 開会挨拶 事務局長 10:00
 - (2) 我孫子市 市民生活部 挨拶 10:05
市民活動支援課 課長
我孫子市の地域活性化地域会議の趣旨を
 - (3) 意見交換おしゃべり 10:10
「地域会議の開催テーマ」について
安全・安心住みよいまちづくりに向けて
「買物環境の支援」の現状把握について（その2）
- イ カスミと取手市の移動販売について 10:15
 - ・新木地区まちづくり協議会 総務部長
取手市 小堀地区「移動スーパーの現状
取手市が資金援助（人件費）
週 月・木2回12時巡回販売
バス中型、2名の担当者で対応
当日ない商品は注文すれば次回に用意
 - ・カスミ新木駅前店の情報（プロジェクター利用）
(株)カスミ 営業企画本部
カスミ・行政・地域自治会と連携＝協力体制の輪
買物に不便を感じているお客様（買物弱者）対象

全体討議（おしゃべり）

- ・買物不便、免許証を返納した、坂道が多くリックサックを担いでも大変、我孫子市でも検討してほしい
- ・見守り、訪問介護、高齢者の生活支援
- ・生活でリハビリを受けるが外へ出たい、支援するヘルパーがいる
- ・買物、手に取って好きなものを自由に選びたい
- ・目で見て触ることにより、気持ちの向上心が出る
- ・スーパーのカートが歩行器
- ・在宅で、カップめんお湯を使う、火は使えない
- ・家の中で、転倒している
- ・低栄養状態、脱水症状
- ・外へ閉じ込める、認知症が進む
- ・市が支援の対策を、進める
- ・高齢者に感じる要素、外へ出るのがつらい
- ・出る人、引っ込む人、二つある。散歩嫌がる
- ・機会を作る、移動販売を利用して、販売車が来るまで、待つあいだ集まって、おしゃべりコミュニケーション
- ・生協利用、量が多く、使い勝手が悪い
- ・品目が同じになる、調理できるが火はダメ
- ・調理法、ポリ袋で出来る利用方法を進める、簡単にできて、非常時に活用できる
- ・自分で、出来る仕組みを作る、やってやるのはダメ
- ・大堀地区の移動販売、我孫子市民でも利用できるのか
- ・車の階段、リフト式、スロープを考える
- ・企業努力の上、サービスを向上につなげる
- ・アビバスの停留所を増やすようルート調整をお願いしたい
- ・台風 24 号で停電、市から情報がない、システムを検討

ハ 新木地区の交通事情について

11 : 10

(プロジェクターによる解説)

新木地区ワークショップ (全国の公共交通事例について)

- ・公共交通計画の現状
輸送人員の減少、収支率の悪化、廃止路線の増加
- ・公共交通の負の螺旋形
利用者の減少、収入の減少、コストの削減、サービス低下
- ・アビバスの現状
平成25年に運賃改を実施後、利用者は2,000人(人/月)
前後となっている。収支率は約20%である
- ・デマンド交通 (デマンドタクシー)
自宅前から目的地まで運行、任意の時刻での予約可能
メリット
無駄がなくなる、1台の車両で、複数地域を補完することが可能
バスの走行不可な地域でも運行が可能
デメリット
利用者が多い場合、予約が出来ない、1人当たりのコストが高い
他人との相乗りしなければならない
- ・その他各地域の対策が紹介された

二 アンケート記入説明

11 : 30

日本大学理工学部 担当者

出席者全員を対象に、アンケートが行われた

ホ 報告に対する質疑応答

11 : 45

日本大学理工学部 担当者

(押し付けない・理解を分け合う・聞く耳を持つを基本に
発言をいただき {見える化} を図りたいと思います)

(4) 新木防災第3号の発行

11 : 55

(5) 閉 会

12 : 00

4 出席者 以下の通り

新木住宅自治会、新木団地自治会、上あらしき台自治会、吾妻台自治会、江蔵地自治会、上新木区自治会、下新木自治会、松風苑自治会、ニュー新木会自治会、南新木自治会、北原地自治会、新木小学校、新木小学校P T A、湖北中学校、湖北中学校P T A、我孫子特別支援学校、湖北地区民生児童委員、ふらりえ新木野、新木野高齢者見守りネットワーク2名、新木地区消防団16団、虹の家2名、デイサービスルーチェ、新木小父親の会、カスミ新木駅前点、日本大学理工学部21名、我孫子市建設部交通課3名、新木地区まちづくり協議会8名

5 次回予定日 平成31年 2月24日(日) 10:00~12:00